令和５年度中京区地域保健推進協議会意見集約

　書面審議期間　令和5年10月6日～10月20日

いただいた主な御意見

＜議題＞

１　中京区役所保健福祉センターの取組について

〇コロナ後も産前教育（特にパパ向け）や産後の気軽な外出先や相談先が無く、妊産婦さんの孤立化が続いている。子育て支援団体や機関、あるいは地域が開催しているキッズパークなどの情報をスムーズに取得できるようシステムを作ると共に、保健福祉センターでも機会作りをしていくのは難しいのか。以前はお洋服や子育てグッズ交換会や集いなどもしていたようだが。助産師会としてご協力できることがあれば、お声がけいただきたい。子育てしやすい中京区を一緒に作っていければと思う。

　　 〇多くの健康づくり事業をされていることに驚いた。

　 また、多くのデータ収集、保健所の取組をされていることに驚いた。（それらの活動をされていることを知らなかった。）

〇人口の減少がとても気になる。地価高騰の影響等々様々な経済情況で、中心部にホテル等が建ち並んでとても心配だ。

〇新型コロナウイルス感染症が令和５年５月より５類感染症扱いとなったが、特定健診は区役所開催・予約制のままであり、人数的な制限が続いていることや、受診者が他地区の割合が大きいことは問題であると思う。普段医療機関を受診されていない又はコロナ禍で医療機関を長期間受診されていない中京区民が気軽に交通アクセスを気にせず受診出来る制度（以前のように各地区の小学校等で行う）に戻す必要があると思う。（中京区役所には西の方からのアクセスが悪い。）

〇歯科医師会としても、災害時医療救護活動について各所と連携をとりつつ御協力で

きればと考える。又、歯のひろばやオーラルフレイル対策等についても、いつも関

係を持たせて頂き、ありがたい。

２　その他

〇コロナも５類に移行し、これからが新たなスタートとして色んな取組が注目され

ると思う。連携をとりながら、住み良い街、中京となるように私たちも何が出来るか考えたい。

〇数々の取組が行われていることに正直驚いた。当然広報されていると思うが、もっと知ってもらう方がよい。例えば、情報を発信、スマホで受けとるなどはどう

か。学校でもそういったものを取り入れはじめている。（すでにそういったこと　はされているかも知れないが）うまく広報して身近になればと思う。

〇「子育て世代包括支援センター」の様々な支援を行っているが、就業しながらの妊娠時はとても大切で、特に食生活が大切だと思うので、より多くのご指導を願う。親御さんにも協力、助言がほしい。